

4週間の LCIC 生活で経験したこと

理学部3年 中村愛華

人生で一番濃い4週間だった。2023年度に参加したスプリングセミナー(オーストラリア・シドニー)での2週間で身に染みて感じた言語の壁。今度こそは異国の人も仲良くなるのだという気持ちでこのサマーセミナーに参加した。ホストマザーと会話のキャッチボールができない、クラスメイトと挨拶程度しかできない。そんな3月とは打って変わりルームメイトと映画鑑賞したり、フィリピン人たち台湾人たち韓国人たちと一緒にご飯を食べたりして国際交流が沢山できた9月だった。

シドニーの時と比べて授業数もクラスも沢山あったため少人数クラスが多く、先生と話す機会も多く相談に乗って頂いたりもした。Pronunciation on skillsの授業では綺麗な発音をする時の舌の使い方や似ている単語の区別の仕方などを学んだ。

“Boat”や“Bought”等々、文脈で何の単語か予測しないとわからないものと思っていたため発音がそれぞれちゃんと違うことに驚いた。SDGs for EFLの授業では英語で世界問題と向き合うという点では他の授業と比べると難しく、課題の数も多ければ内容も重たいものが多かった。しかしフィリピンと日本でSDGsに対する考え方や向き合い方が違うことを知ることができた。



発展途上国と言われているフィリピンを日本と比べるとやはり衛生面はよくなかった。食べ物にはハエが飛び交い、信号や横断歩道もない。トイレにはトイレットペーパーやトイレを流すレバーがないのが当たり前だった。触ってはいけない野良犬がいるのも水道水を飲むとお腹を壊すというのも日本ではできないかなり貴重な経験になった。

今回のサマーセミナーで私はフィリピンだけでなく、韓国や台湾の文化も知ることができた。第一言語が英語じゃない国の人も英語さえ話せばより多くの人とコミュニケーションが取れることを知った。もっともっと英語を勉強して話せるようになりたいと思える一ヶ月だった。